



# 天文台だより

銀河の森天文台  
2017 春号  
Vol. 75

## オーロラ生中継大盛況！



4mエアドームでのオーロラ中継の様子

2017年2月1日(水)～12日(日)の期間、イベント「オーロラウィーク2017 ～カナダ・イエローナイフからのオーロラ生中継～」を開催しました。期間中、現地の天候が良い時には毎日明るいオーロラが出現し、ダイナミックに変化するオーロラの様子を楽しむことができました。また、今年のイベントの目玉として、「オーロラ検定(初級、中級、上級)」を実施し、最難関の上級検定では、上出館長の面接・採点の下、3名の合格者ができました。

中継は、AuroraMAXプロジェクト(カナダ宇宙庁、カルガリー大学、アストロノミーノース、イエローナイフ市)の協力の下、館内の4mエアドームと150インチスクリーンで行い、期間中600名の入館者がオーロラ中継を楽しみました。

また、高感度・高解像度機材で撮影されたオーロラ映像を使用したプラネタリウム番組「オーロラ 生命の輝き」の上映をこのイベントに合わせて開始しました。

### 「館長コラム」上出洋介(牡牛座)

国内には、600館以上もの科学館があります。今日は、科学館の役割について考えてみましょう。

私は常々、科学することの原点は感動と好奇心であると思っています。良い科学館とは、学校では教えない「ナマ」の現象を体験させることにより、ユニバースでの人間の立場を問いなおす場所だと思います。

学校の理科で教えるべきことは、自然への感動ではないでしょうか。科学館の役割は、そのお手伝いです。つまり、学校と科学館のコラボレーションが必須です。子供のころ、元素や素粒子のことを知ったとき、不思議を超え、自然への畏敬をすら感じ、何日も考え込んでしまったことを憶えています。どんなコンピュータにも負けない自分の脳の判断力。整然とした遺伝の仕組。宇宙の始まりと果て、オーロラの舞い。どれをとっても、科学は感動的です。「すごい」という感動を育てることこそが理科教育の原点なのです。



(上出洋介館長)

### 3/5、月面Xを観測！

2017年3月5日夕方、月面に現れた「X(エックス)」を撮影しました。月面「X」の正体は、月面にある隣接する3つのクレーターの外壁です。この外壁に真横から光が当たると、外壁の高い部分だけに光が当たり、アルファベットの「X」の形が浮かび上がって見えるのです(写真中央)。

次回の月面「X」の観測チャンスは、5月3日19時30分前後1時間になります。ぜひ、探してみてください。

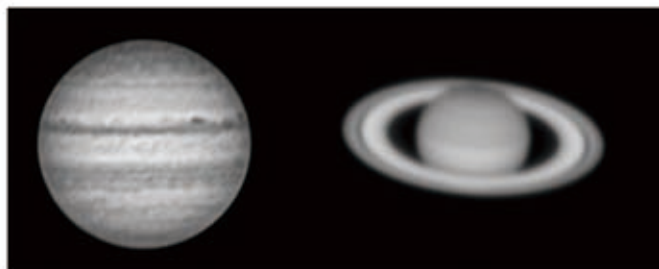


2017年3月5日撮影

### 春は木・土星が見頃です！

今年は、木星が4月8日におとめ座の中で衝を迎え、土星は6月15日にへびつかい座の中で衝を迎えます。

木星は7月上旬まで、土星は5月下旬～9月中旬ぐらいまで見頃となります。ぜひ、ご来館下さい。



## 暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
4月1日	5:04	17:55	4.0	7:55	22:43
4月15日	4:40	18:11	18.0	21:46	7:09
5月1日	4:15	18:30	4.6	8:26	23:35
5月15日	3:57	18:46	18.6	22:12	7:13
6月1日	3:43	19:03	6.3	10:34	---
6月15日	3:39	19:12	20.3	22:47	8:49

# 天文行事&暦

4月

- 1 水星が東方最大離角  
(光度:-0.1等, 離角:19.0°)
- 4 清明(24節気:太陽黄経15°)
- 8 木星が衝  
(光度-2.5等、視直径44.3")
- 11 ○満月
- 20 穀雨(24節気:太陽黄経30°)
- 26 ●新月
- 26-5/7 木星観望会
- 30 金星が最大光度(-4.5等)

5月

- 4/26-5/7 木星観望会
- 1, 2 特別開館
- 5 立夏(24節気:太陽黄経45°)
- 11 ○満月
- 15-26 天文台メンテナンス休館
- 18 水星が西方最大離角  
(光度:0.5等, 離角:25.8°)
- 21 小満(24節気:太陽黄経60°)
- 26 ●新月

6月

- 3 金星が西方最大離角  
(光度:-4.3等, 離角:45.9°)
- 5 芒種(24節気:太陽黄経75°)
- 9 ○満月(本年最遠の満月)
- 7-18 木星・土星観望会
- 15 土星が衝  
(光度0.0等、視直径18.4")
- 21 夏至(24節気:太陽黄経90°)
- 24 ●新月

## 春のイベント情報!!

### ☆木星観望会

今年の木星はおとめ座の中で、見頃を迎えます。美しい木星のしま模様や春の天体をお楽しみ下さい。

開催日時: 4月26日(水)~5月7日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜・祝日のみ)

### ☆木星・土星観望会

この時期、木星・土星が見頃を迎えます。観望会では、木星・土星や季節の天体を観望します。

開催日時: 6月7日(水)~18日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

### 拝啓、天文台より - 「天文台のひとコマ」 -

ふだん星空をご案内していると、時々「どどこで、○時頃、すごく明るい星を見たのですが、あれは何でしょう」と、ご質問をいただきます。お答え出来ないこともありますが、そのご質問をととても嬉しく思います。

なぜなら、場所を問わず、空を見上げる方がいらっ



やることを、実感するからです。そして、何気なく持った疑問を「なんだろう、あれが何なのかを知りたい」と、大事にしていらっしゃることが伝わるからです。今年、明るく探しやすい木星は、春が見ごろとなります。ぜひ見つけて楽しみましょう。

(守)

### ペッコカめぐり「春を訪れを感じる星座」

春の星座は?と言われると、おおぐま座、おとめ座、しし座など、思い浮かぶ星座はいろいろありますが、春の訪れを感じる星座は?と言われて思い浮かぶ星座はさそり座です。さそり座は夏の星座なのですが、真冬に夜通し天体観測していると次第に明るくなっていく空に昇ってくるのです。そしてその昇ってくる時刻が少しずつ早くなっていくのを感じ、一歩ずつ春が近づいて来ているのを感じるのです。

(中)



### 天文台からのお知らせ

☆ 4月より開館時間が、14:00~22:30となります。  
(昼間14:00~18:00、夜間18:00~22:30)

☆ 5月1日、2日(月・火)は、特別開館します。

☆ 5月15日(月)~26日(金)は、天文台メンテナンス休館となります。

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館 (銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100 FAX: 27-8102

URL: <http://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: [ginga@rikubetsu.jp](mailto:ginga@rikubetsu.jp)